

# 美和と樂寿と これから地域×福祉を考える

高齢者が4割以上というこの社会において、介護や福祉はますます重要なこと。

しかしそれは単なる一施設のサービスとしてではなく、

地域と連携した「地域福祉」こそ、求められるようになります。

47年目を迎える樂寿会もその意識を強く持ち、

地域住民の皆さん、様々な要素と結び付いたサービスや取り組みを目指しています。

今回は、樂寿会にとってなくてはならない美和地区の様々な人・場所を訪ねました。



美和地区自治会連合会  
会長 前田利文さん

社会福祉法人 樂寿会  
会長 兼理事長  
有馬良建(よしだけ)さん

特別養護老人ホーム  
樂寿の園 副園長  
有馬万紀子さん

## 地域に溶け込み、助け合い、 共に豊かな暮らしを創る存在を目指して。



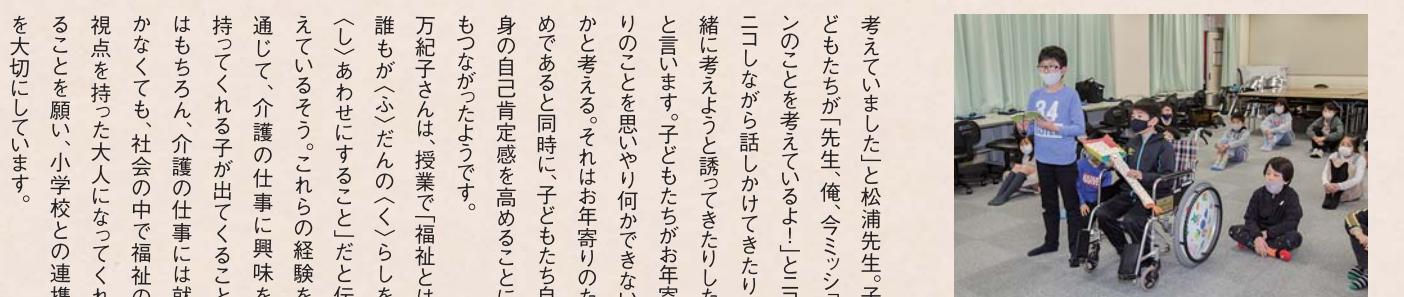
### 「育てる福祉」にも取り組んでいます。

「育てる福祉」が大切にしていることの一つに、「育てる福祉」があります。子どもたちにお年寄りへの思いやりの心を育んでもらおうと、地元の美和・安倍口・足久保小学校で授業をお手伝い。今回、樂寿の園副園長の有馬万紀子さん(以下、万紀子さん)が、6年生のキャリア教育と4年生の福祉教育の授業を行なっている美和小学校の松浦校長先生を訪ねました。

「私は初任教が美和小学校なん

です。来年の定年もここで迎えることになり、美和地区との縁の深さを感じています。現在、私自身も家族の介護をしていて、介護職の方にお世話になり助かっています。樂寿の園も広く地域や福祉を支えているのだろうと施設を眺めるたびに感じていました」と

思っていたそうです。それが先日、安倍口小学校と足久保小学校と3校同時にオンラインでつなぎ、6年生のキャリア教育の授業として実現。介護職の方から直接お話を聞けて「本当に嬉しかった」と言います。樂寿会が、「言葉掛け」を大切にしていると聞き、



1.前田会長が参加する、樂寿の園運営推進会議。2.美和桜まつりでの出店の様子。  
3.4.消防第30分団、地域と合同で行なう防災訓練。

地域の行事や樂寿会の活動で、相互に連携。美和学区では、住民の皆さんで美和桜(河津桜)を育て、開花に合わせ美和桜まつりを開催。各自治会や団体の協力なくしては盛り上がりないと、樂寿会もそれを支える員となっています。昨年、今年はコロナ禍で中止となってしまったが、例年、甘酒の出店をし、大盛況だそう。また、

地域の行事や樂寿会の活動で、相互に連携。

新年には、消防第30分団による放水が樂寿の園で実施され、有馬理事長はその頗もしい姿に地域の誇りと感謝を感じるそうです。このような互いを尊重する気持ちも、豊かな暮らしを営む地域に欠かせないものでしょう。



まずお会いしたのは、美和学区自治会連合会の会長、前田利文さん。市街化調整区域も影響してか美和学区は高齢化率が50%を超えており、だからこそ「樂寿会が地域に根付いた活動をしていくくれたら心強い」と言います。実際にこれまで「地域の敬老会には職員を派遣してい

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた

たたいて、健康体操などをやってもらっています。また静岡市のS型ディーサービスにおいても、美和地域包括支援センターからアドバイスを受け、機能訓練のゲームを実施するなど、多大な協力をしてもらっています」とのこと。一方、樂寿会も前田会長に協力をいた



対する理解を深めていただきたいです」と有馬理事長。地域の方の目があることで、サービスの質向上や職員のやる気につながることも考えています。さらに、有馬理事長は美和学区自治会連合会の相談役を務め、地域の集まりにも顔を出す。「樂寿会が介護の責務を全うできるのは、地域があつてこそ。ですから私自身も地域に対応できることはしたい。地域のお役に立てれば、地域がつよい思いがあるのです」と理事長。まさに持ちつ持たれつと信頼関係を築いています。

樂寿会は創設以来、施設福祉と在宅福祉の有機的で一体的な連携を図り、住み慣れた地域でその人らしく最期まで生活する「エイジング・イン・プレイス」の実現を目指し、実践してきました。それ

は、福祉の力を一番発揮できるのは地域福祉だと考えているから。

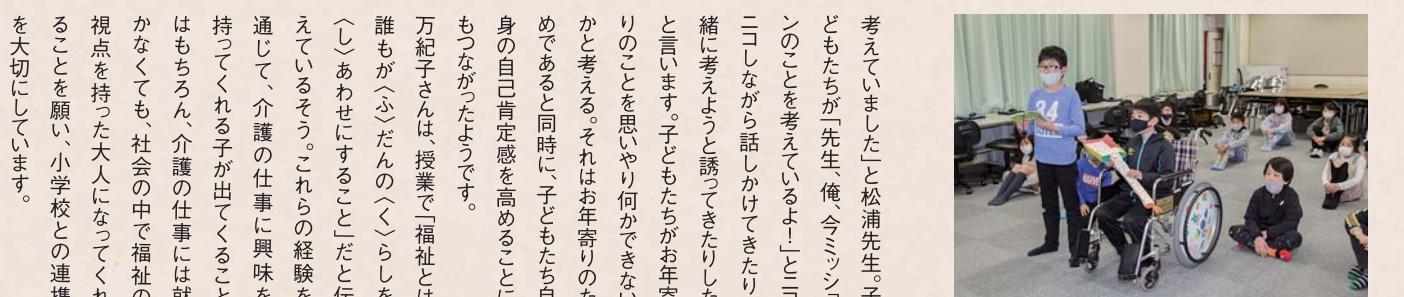
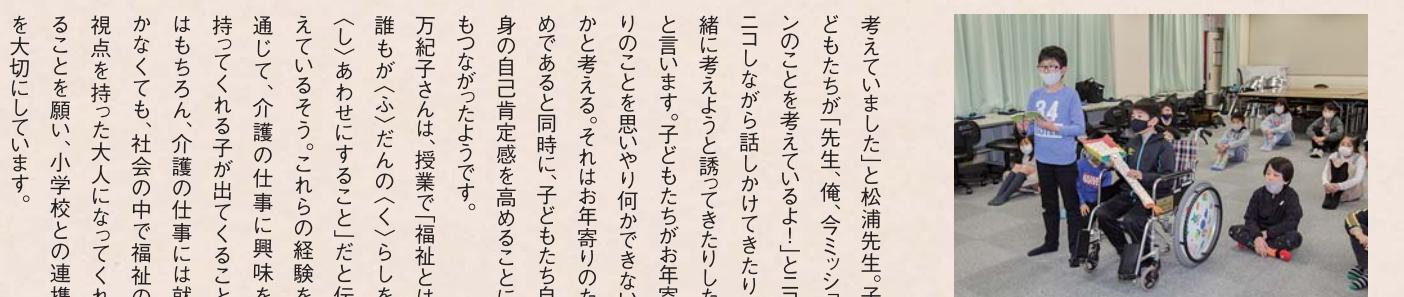
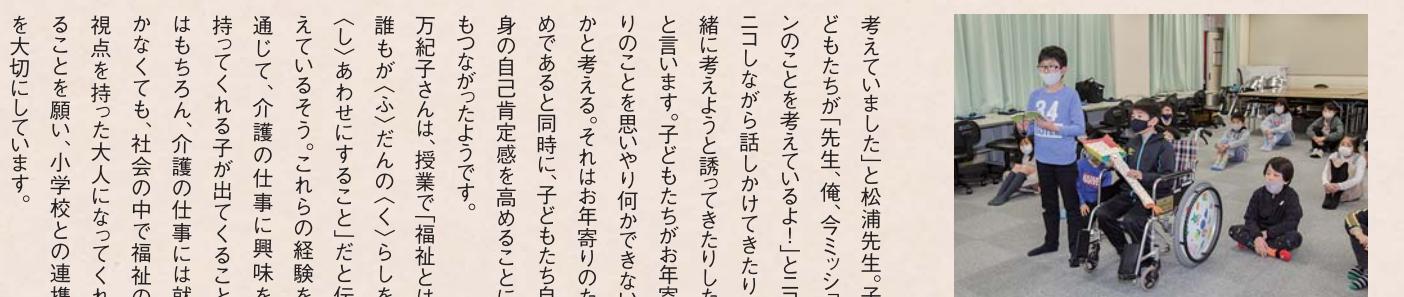
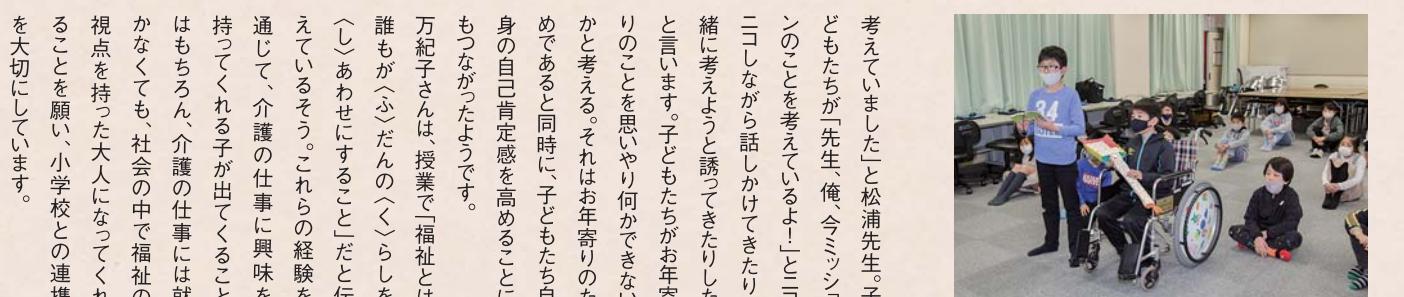
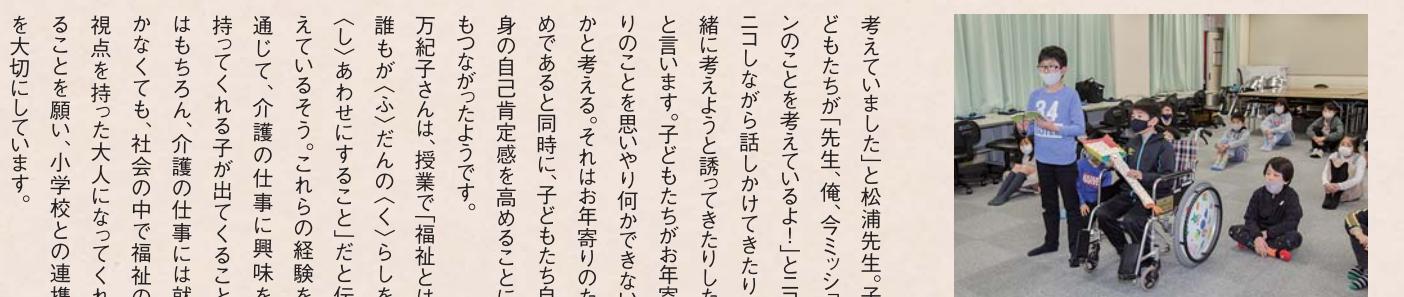
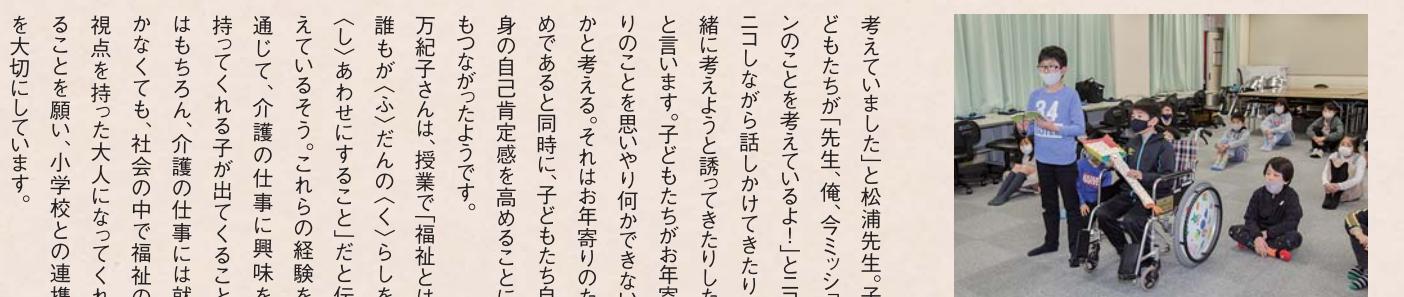
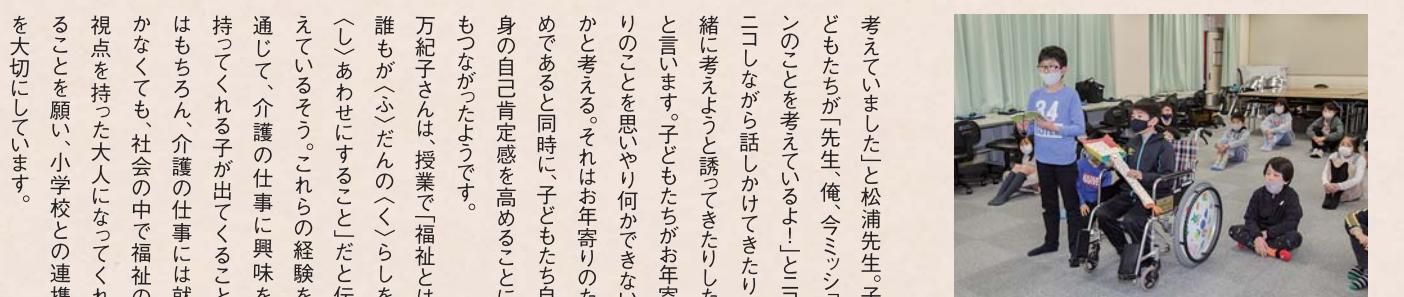
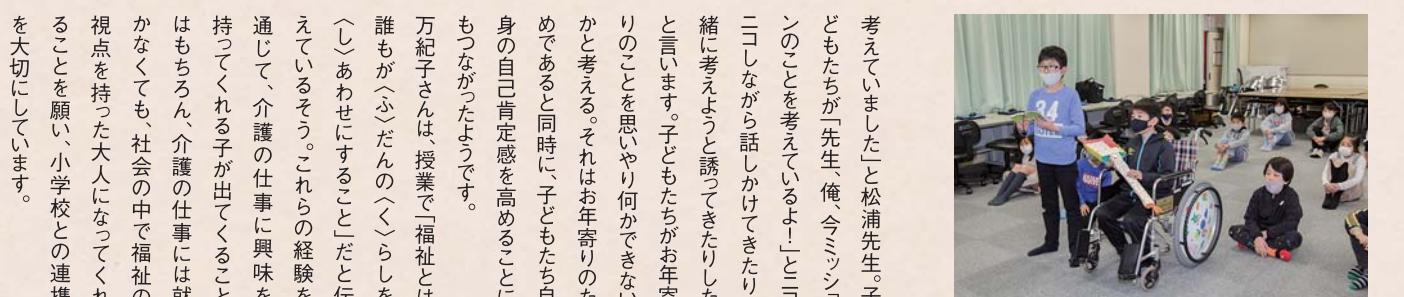
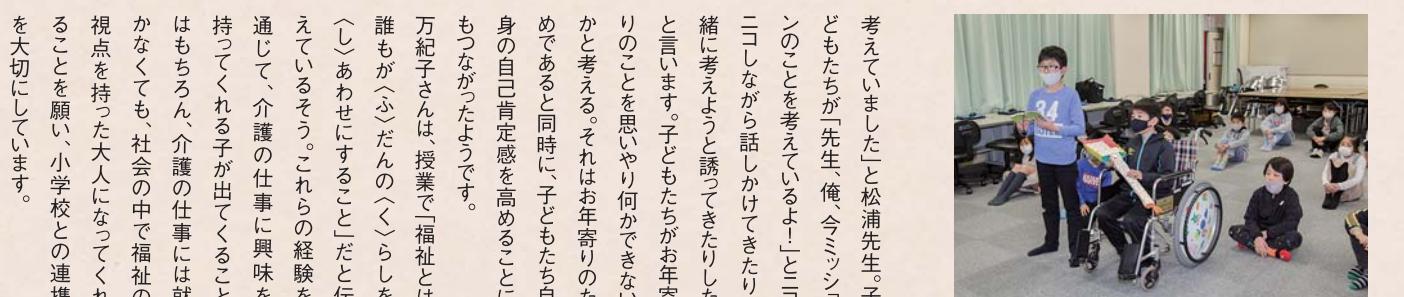
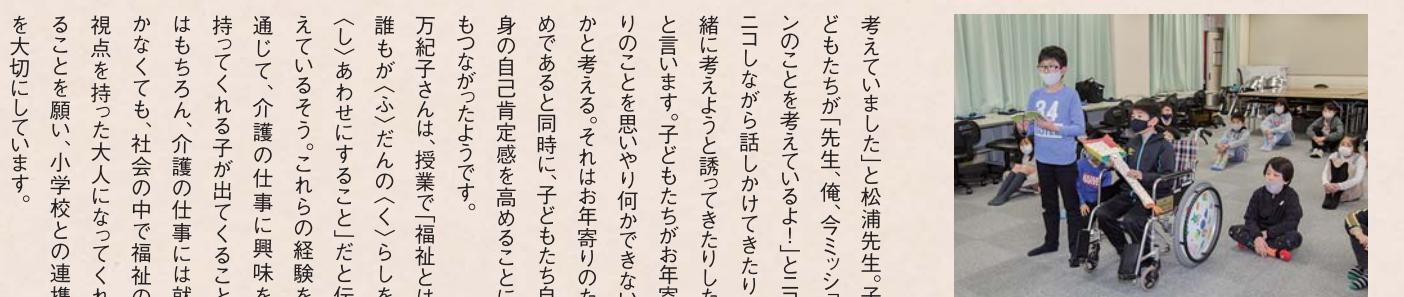
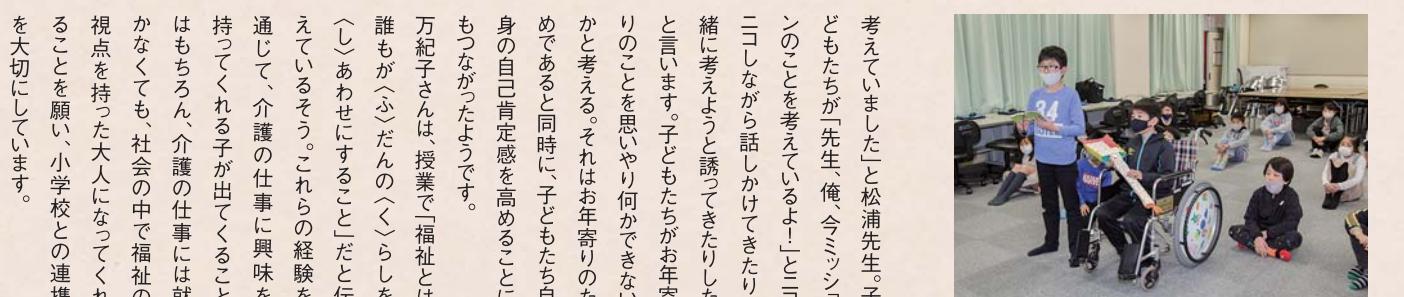
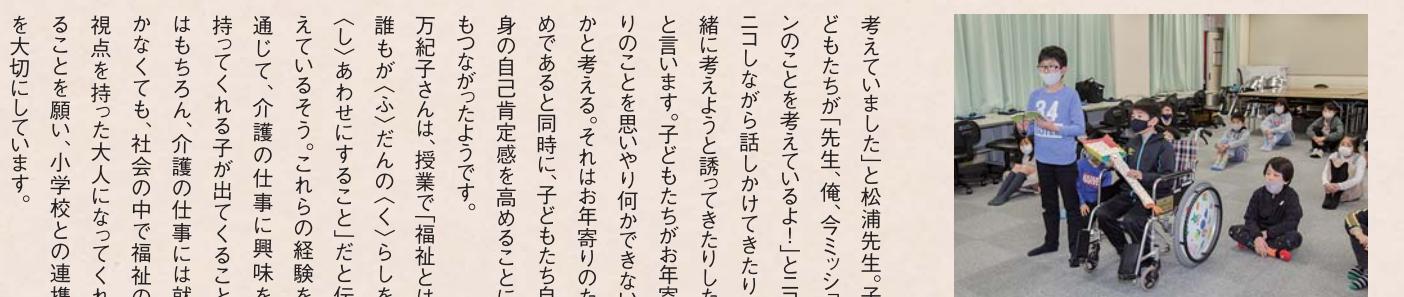
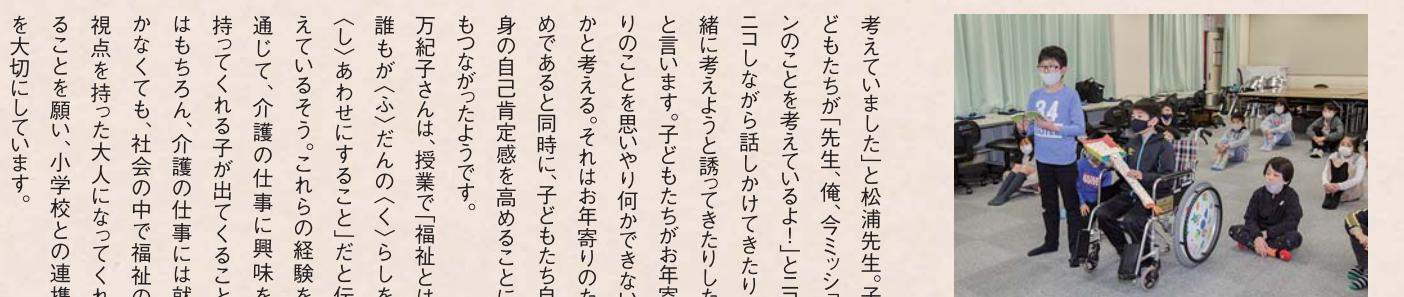
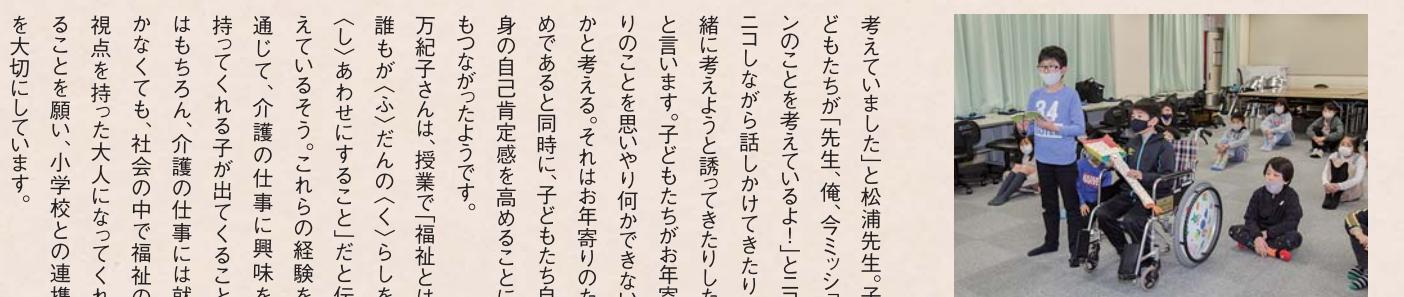
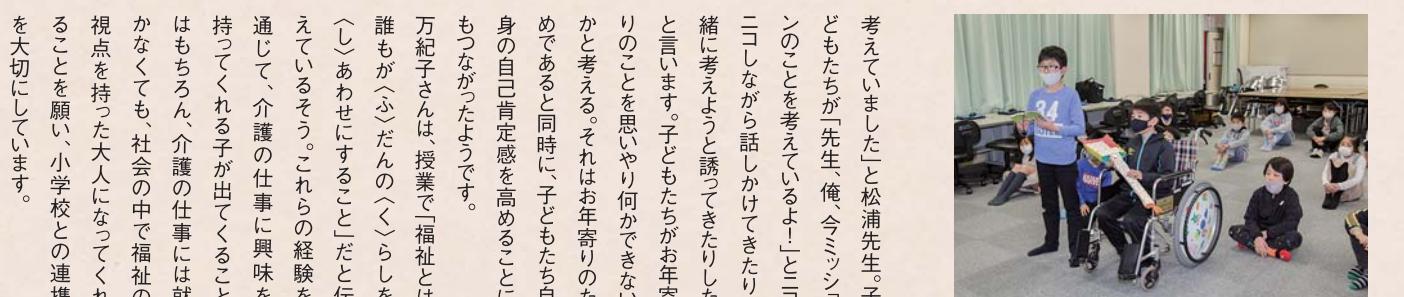
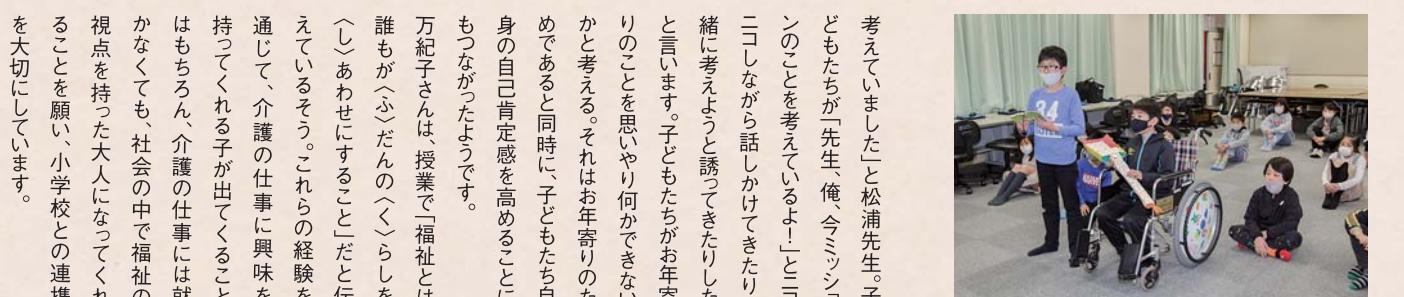
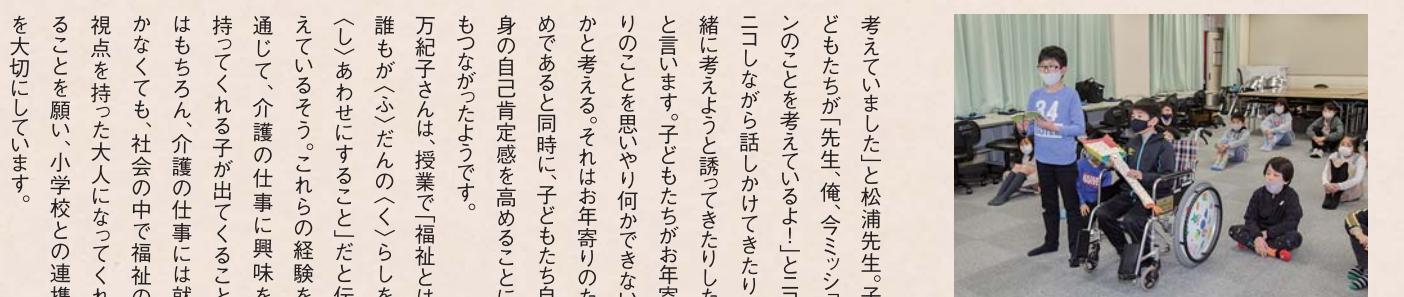
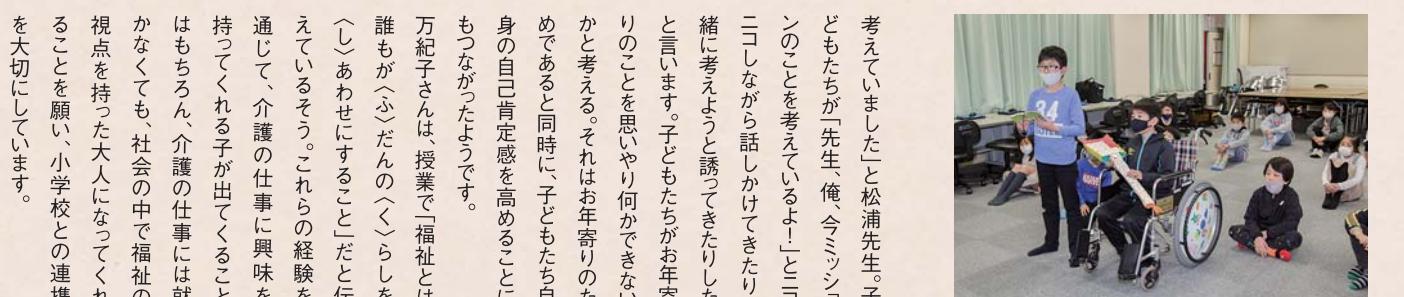
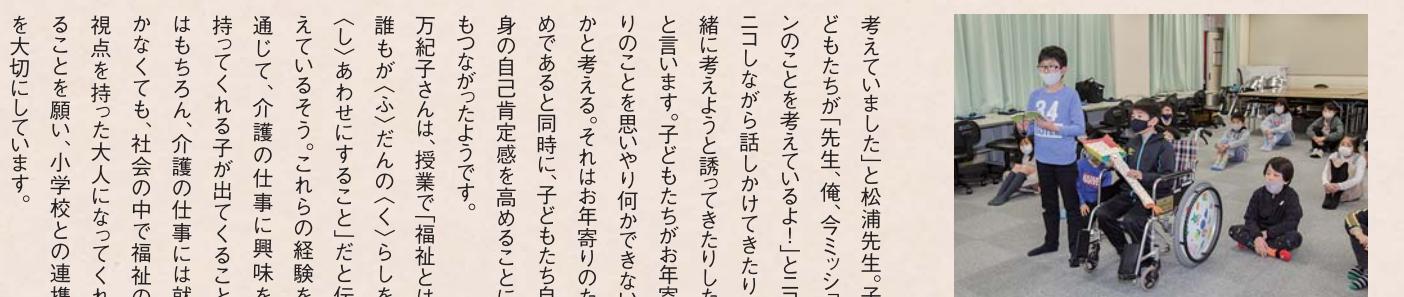
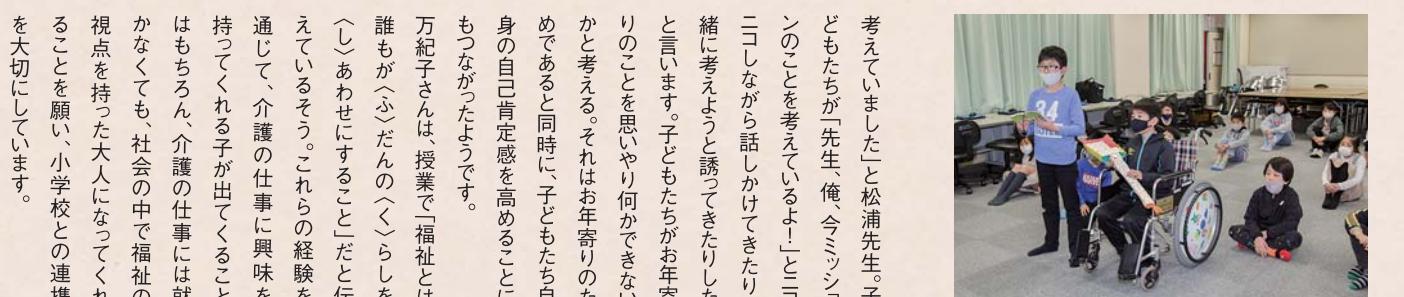
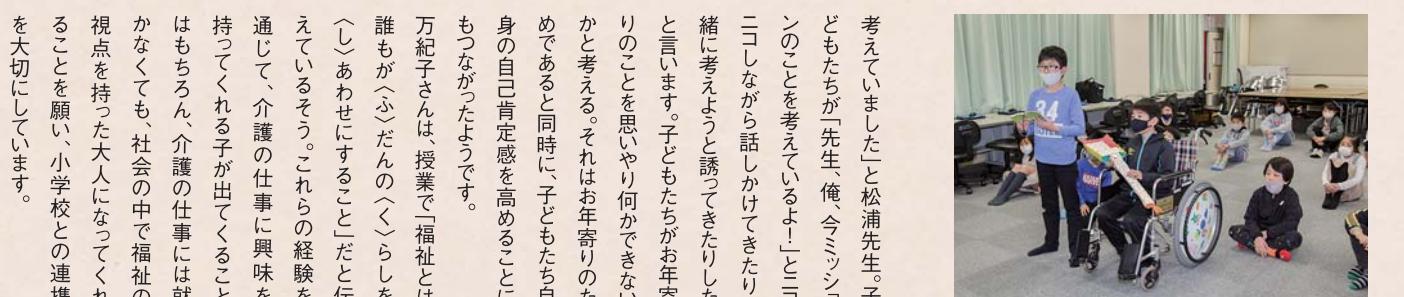
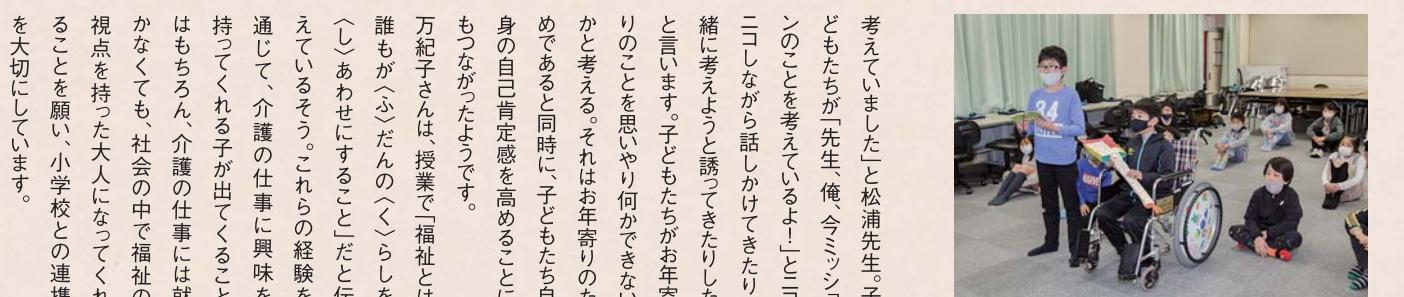
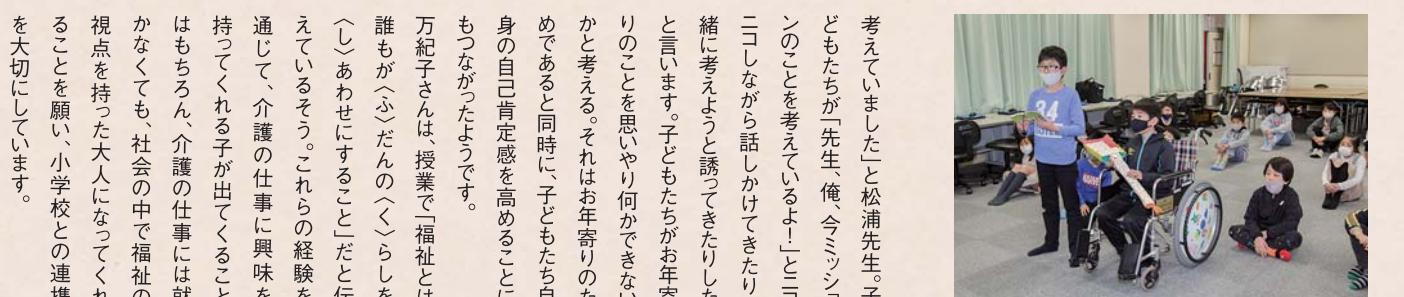
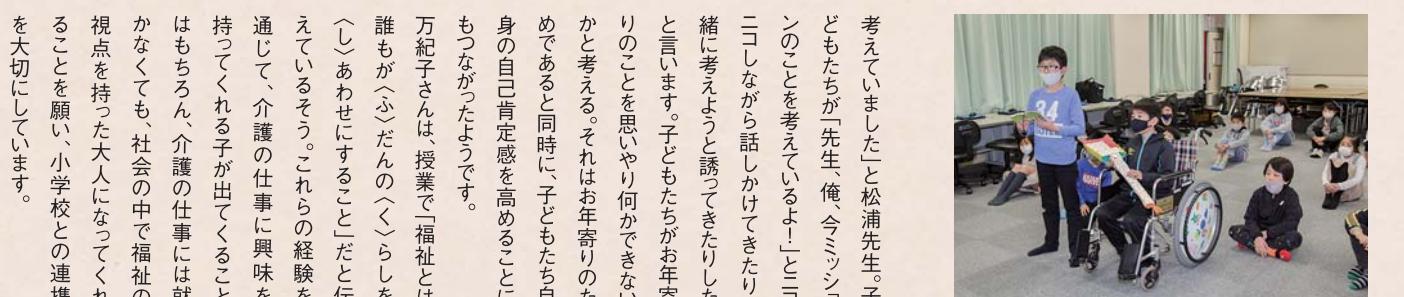
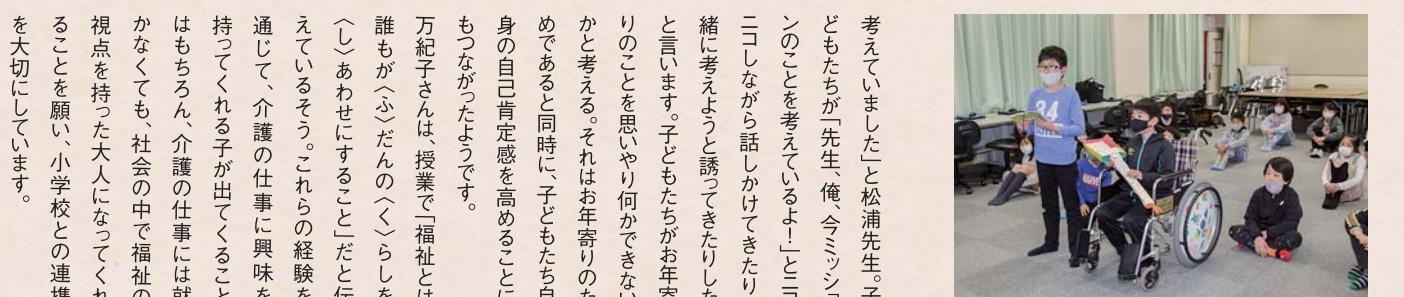
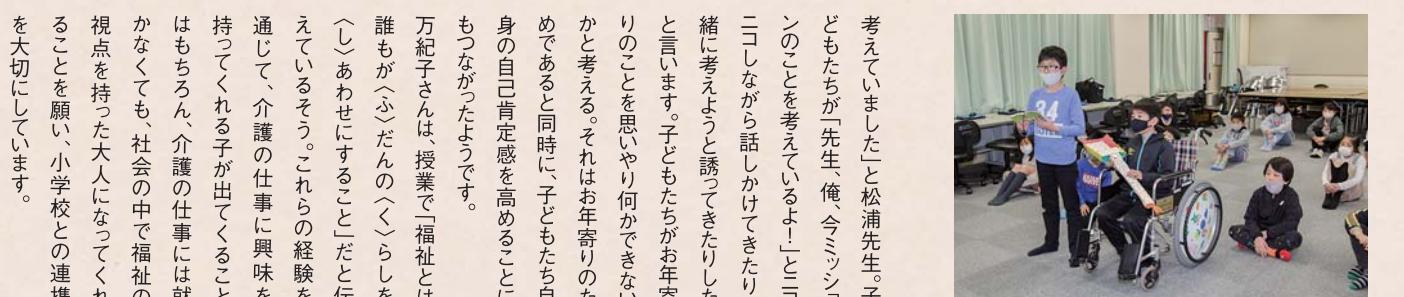
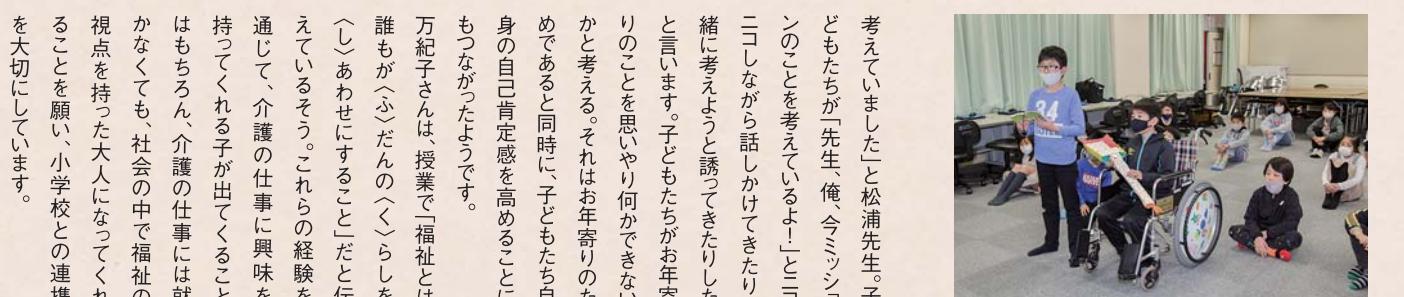
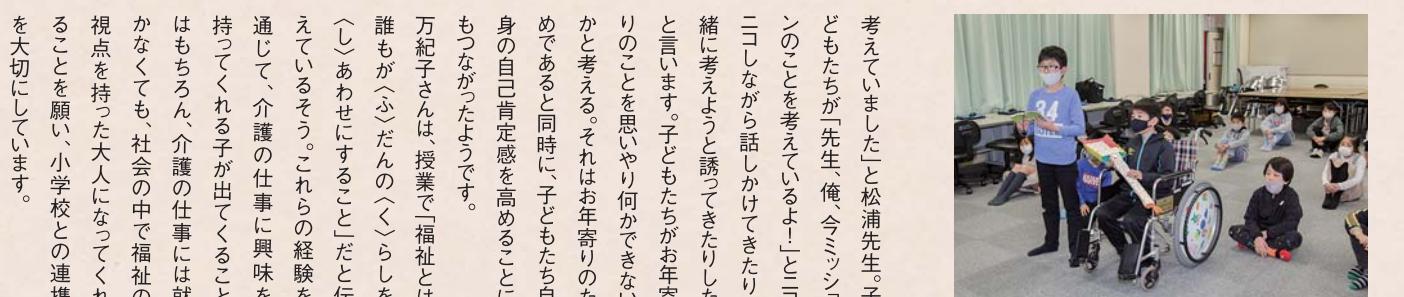
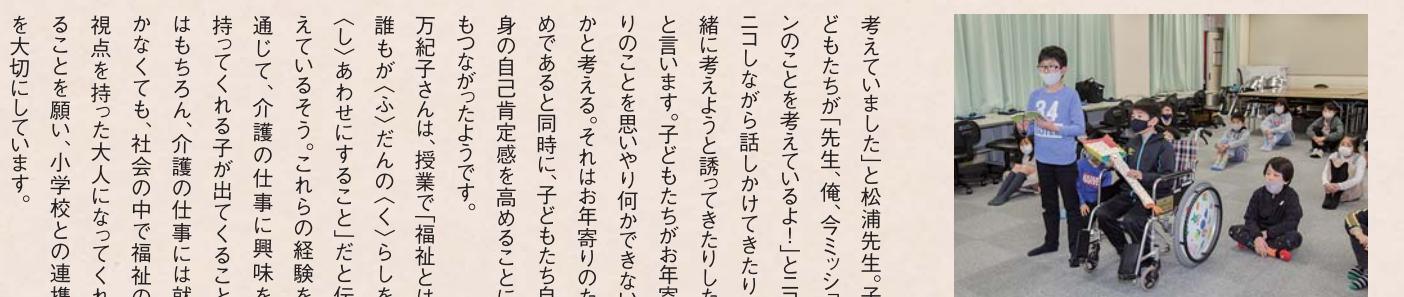
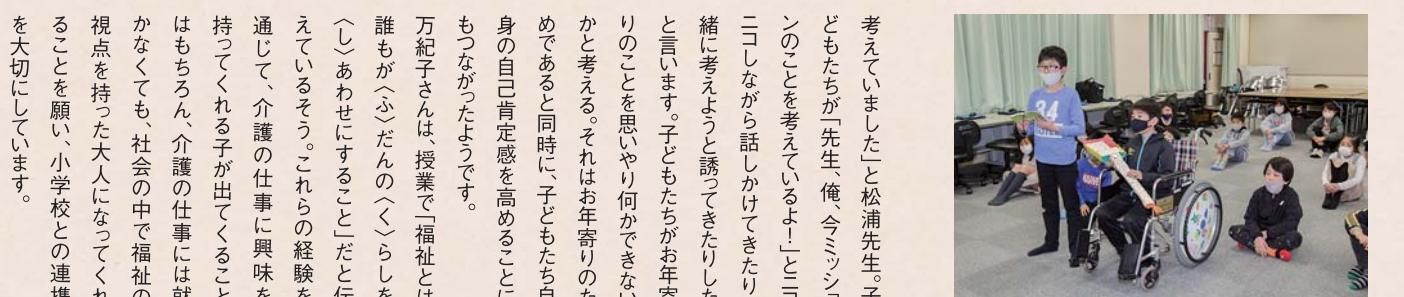
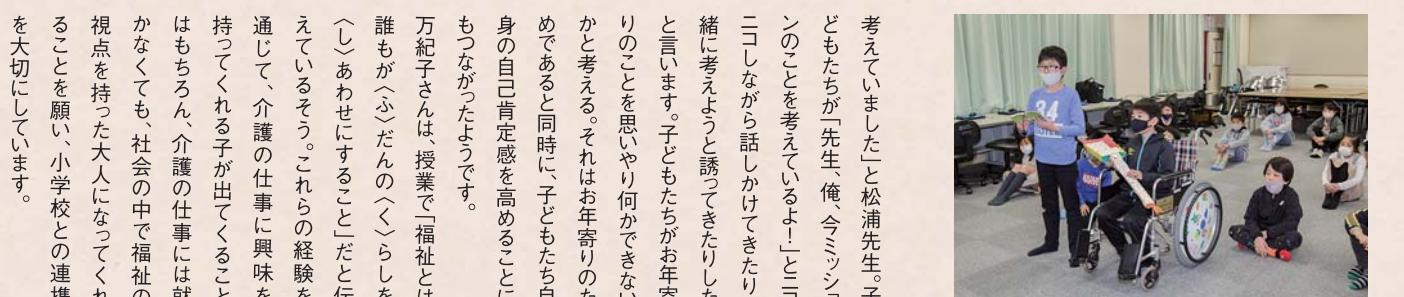
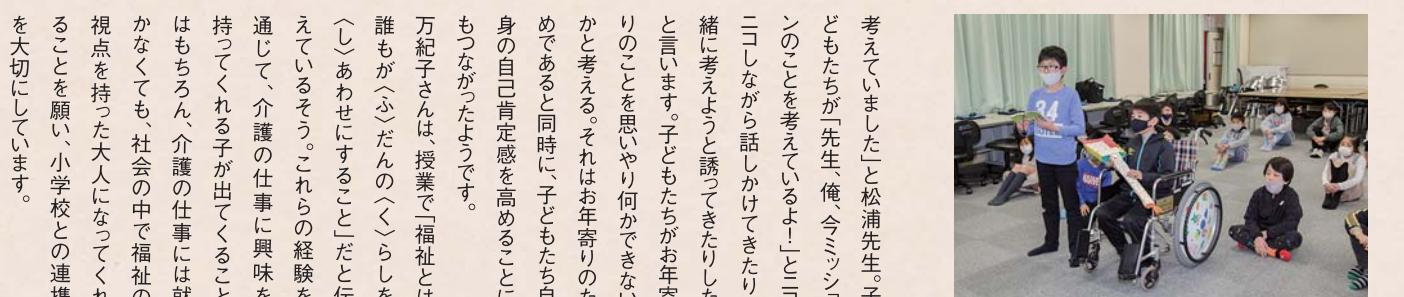
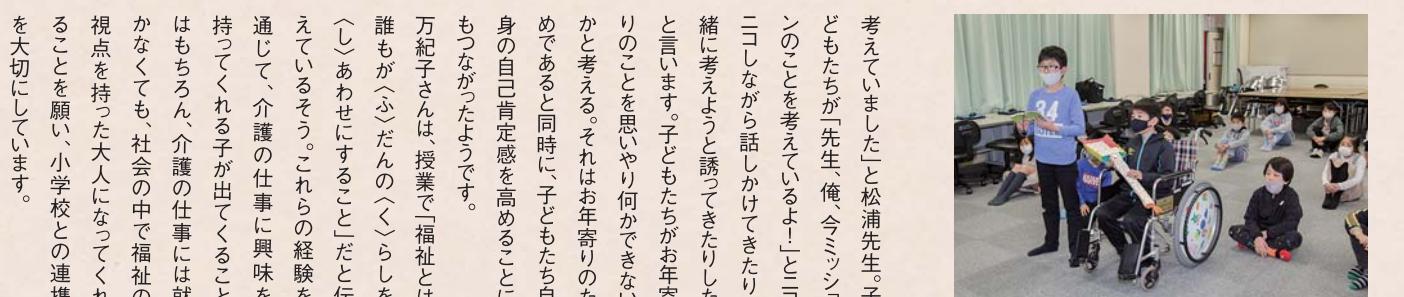
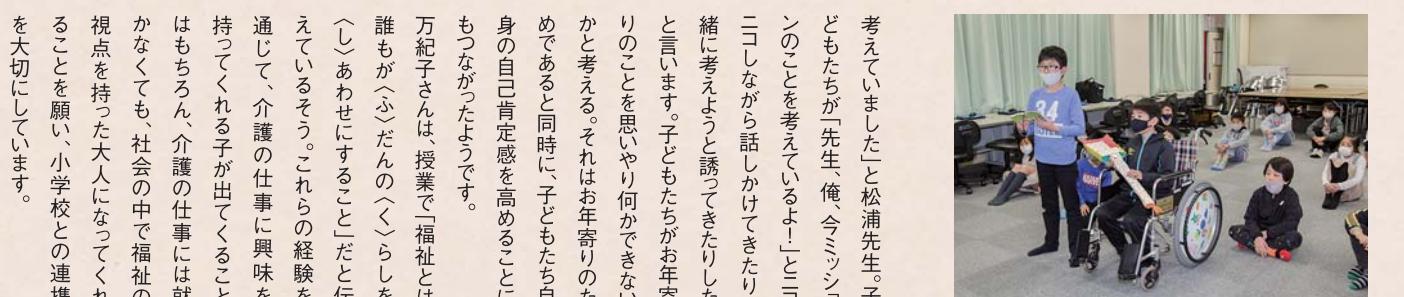
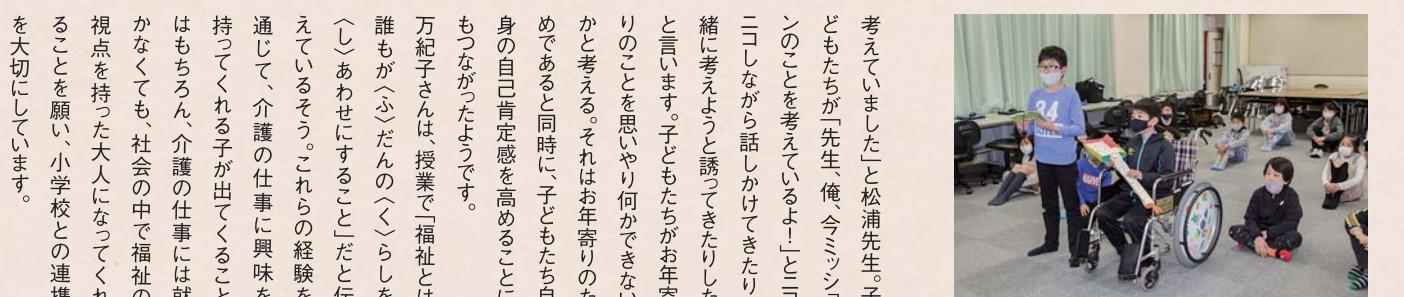
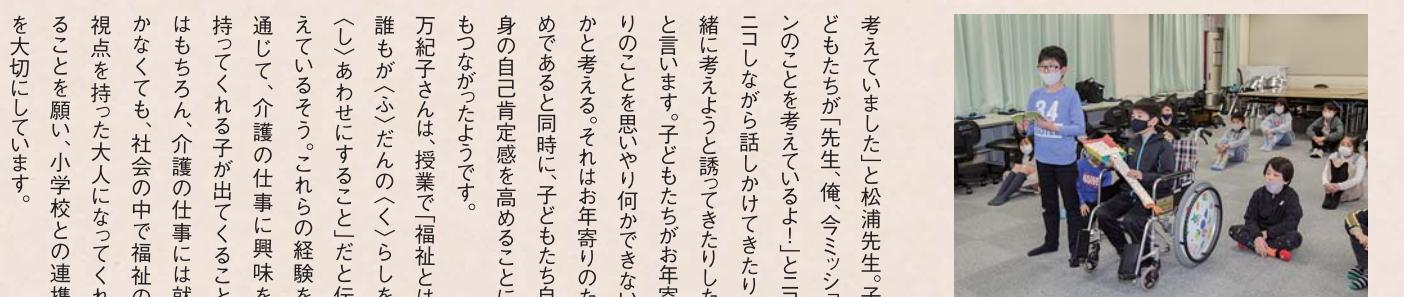
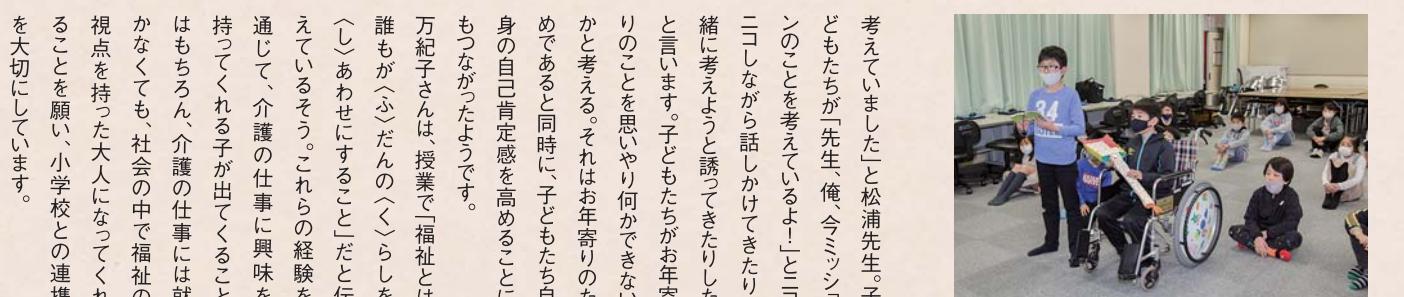
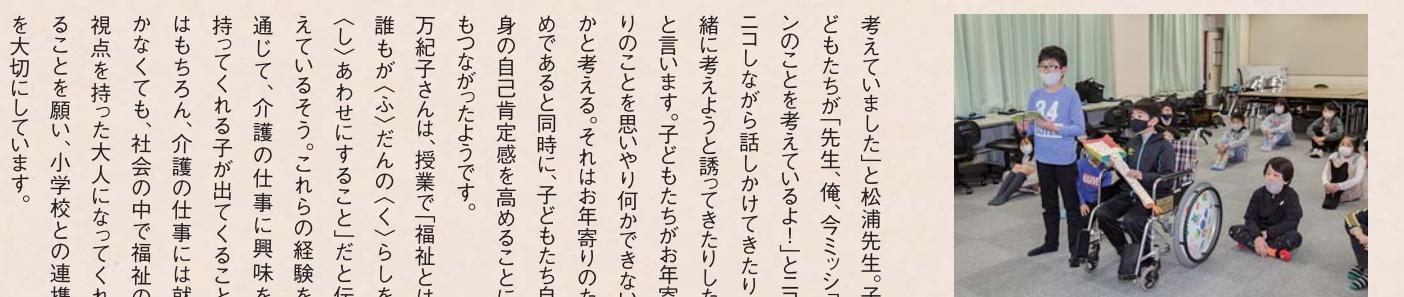
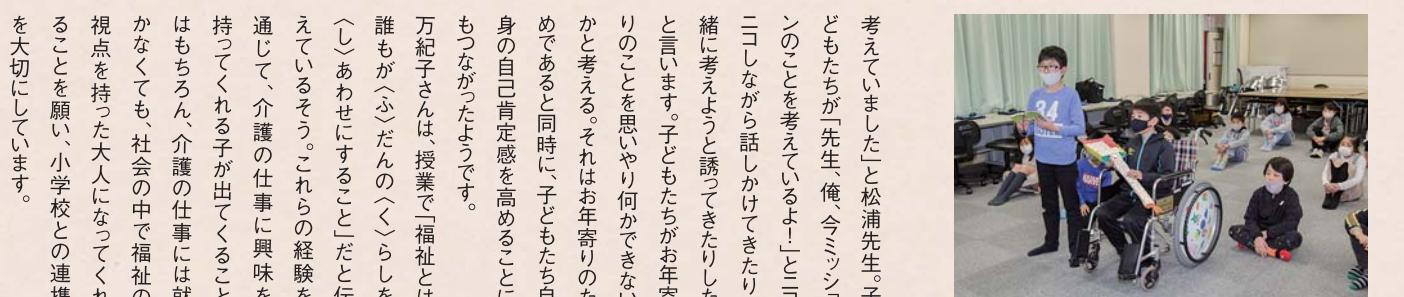
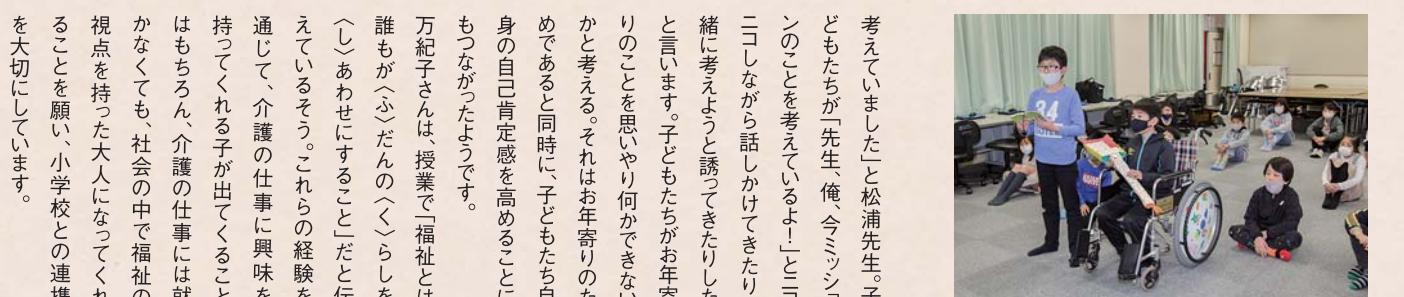
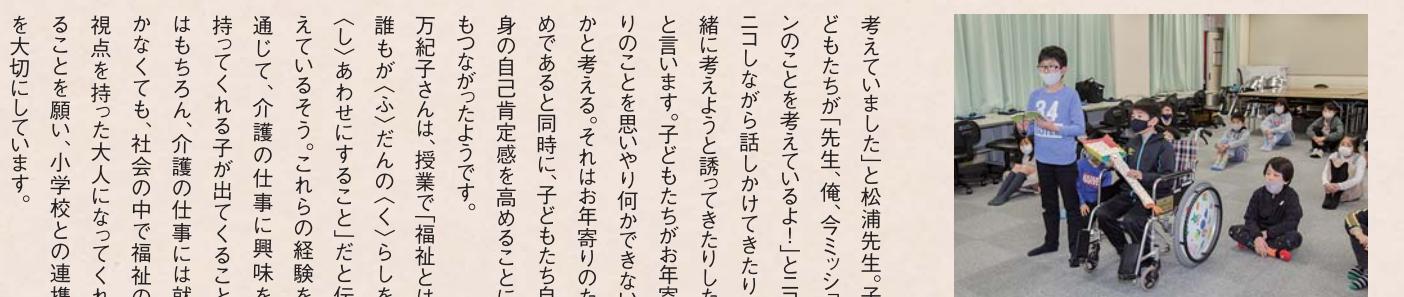
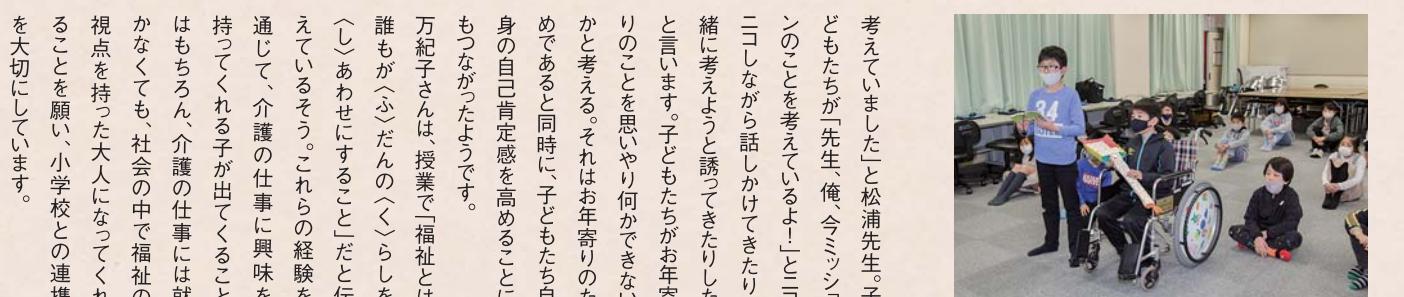
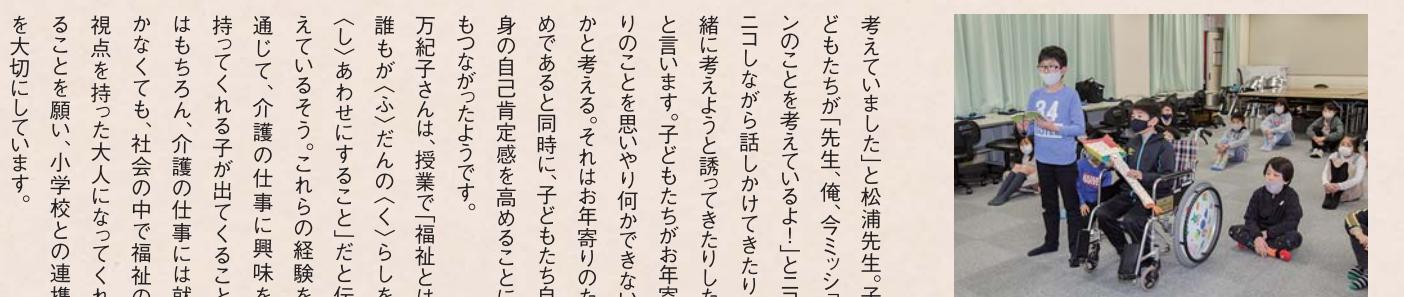
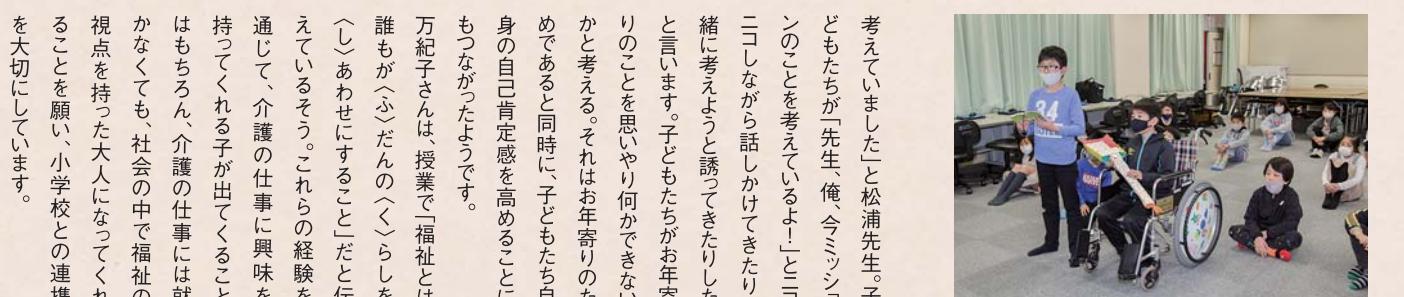
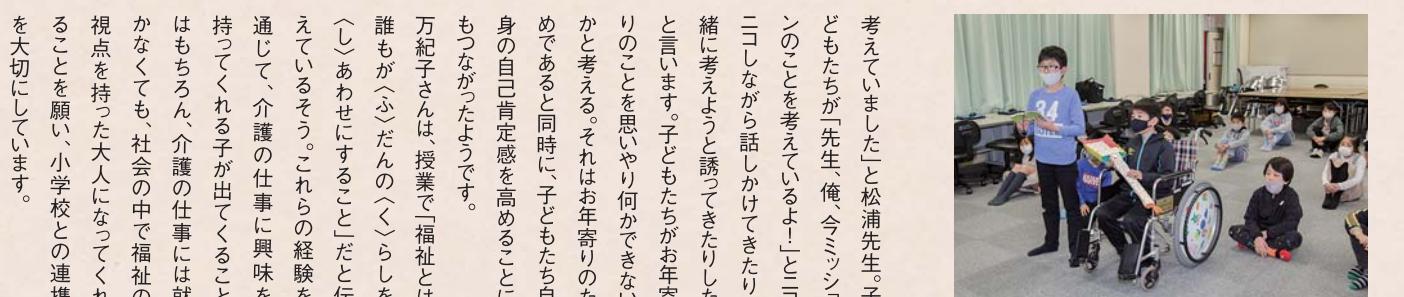
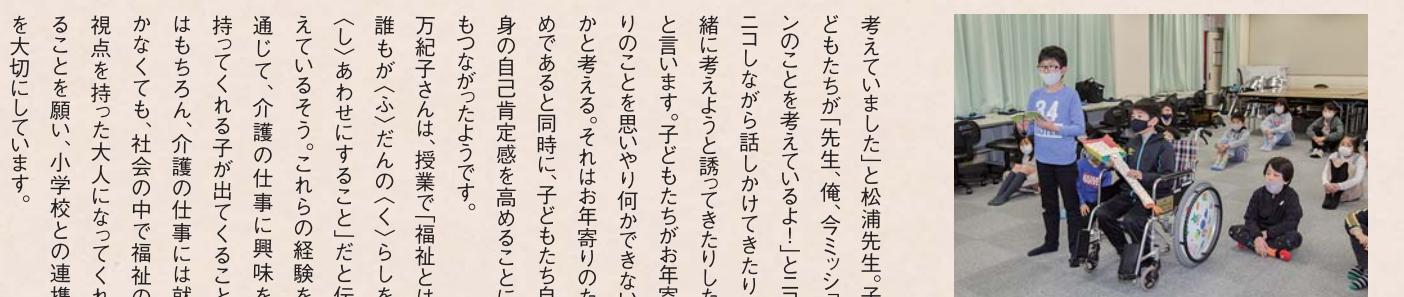
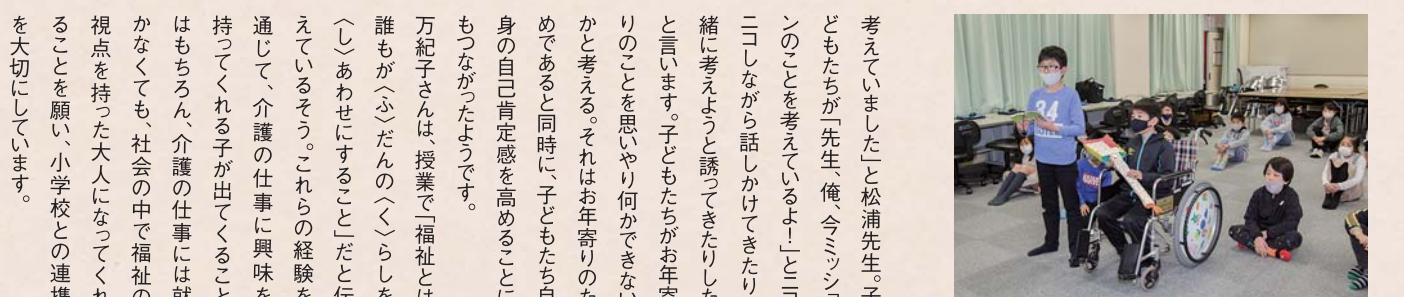
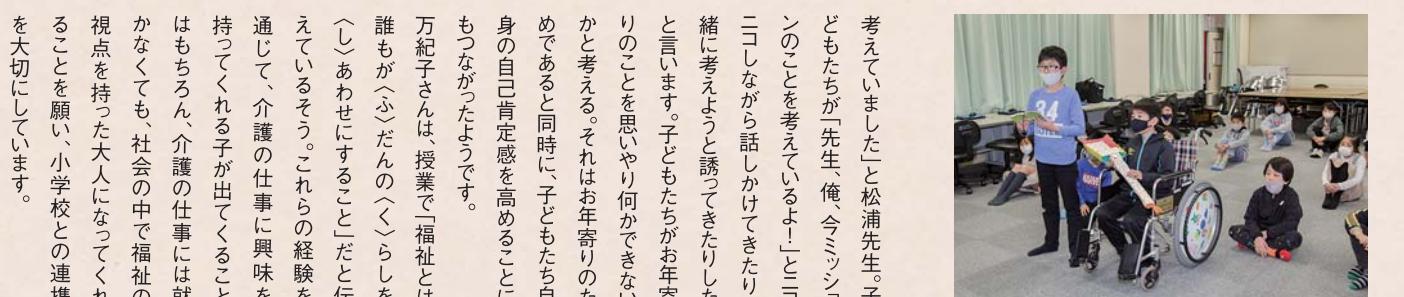
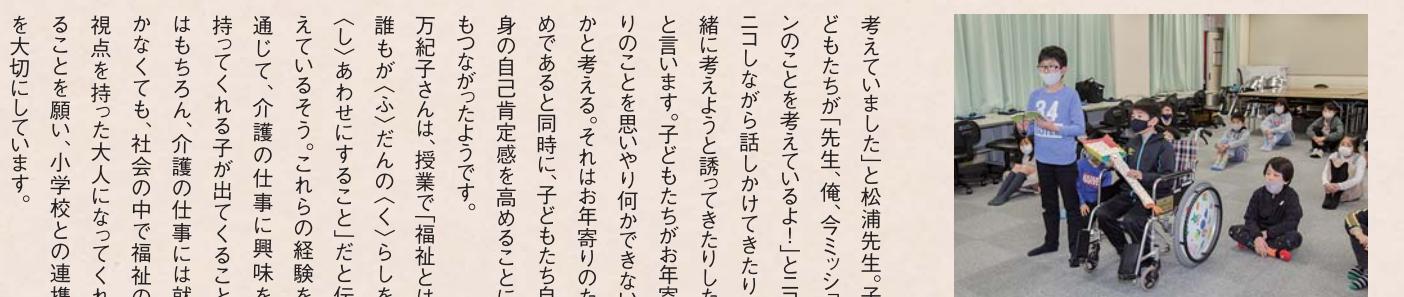
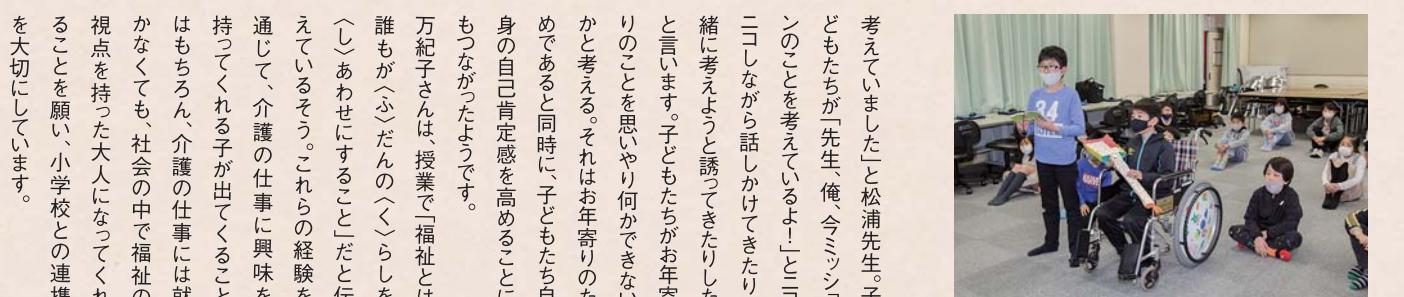
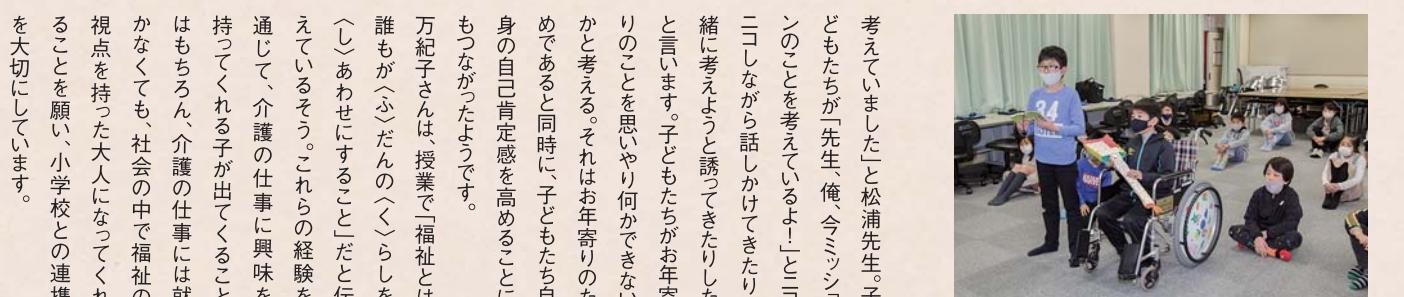
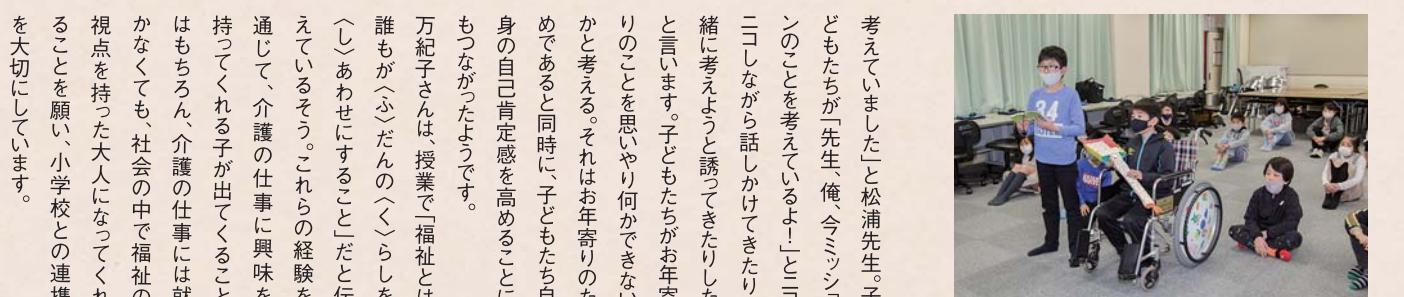
そしてそのため、地域との信頼づくりが、地域福祉を前進させる

強力なバイタリティーになると、理事長をはじめ、樂寿会の皆さんは信じているのです。地域福祉を機能させるためには、地域の民間委員や開業医の協力、住民同士のネットワークが不可欠。実際に、在宅支援のプランの中にボランティアによる地域支援を組み合わせることも少なくないそうです。拠点である施設の運営、そこから地域に入り込んで最適なサービスを開拓していく地域包括ケアの実践には、地域の協力と充実した環境がなくてはなりません。だからこそ、地域に住む方々と誠意をもってお付き合いすることを大切にしています。

は、福寿の力を一番発揮できるのは地域福祉だと考えているから。

そしてそのため、地域との信頼づくりが、地域福祉を前進させる

強力なバイタリティーになると、理事長をはじめ、樂寿会の皆さんは信じているのです。地域福祉を機能させるためには、地域の民間委員や開業医の協力、住民同士のネットワークが不可欠。実際に、在宅支援のプランの中にボランティアによる地域支援を組み合わせることも少なくないそうです。拠点である施設の運営、そこから地域に入り込んで最適なサービスを開拓していく地域包括ケアの実践には、地域の協力と充実した環境がなくてはなりません。だからこそ、地域に住む方々と誠意をもってお付き合いすることを大切にしています。



地域に溶け込み、  
地域と共に福祉を実践。

健康・長寿のまちへ。  
選択しながら

お茶とイチゴをばら

そして、地域福祉を具体的・有機的に機能させているのが、静岡市から受託している美和地域包括支援センター。社会福祉士、主任ケアマネジャー、看護師の3職種の職員が在籍し、総合相談、ネットワークづくり、介護予防、要支援者のマネジメントを担当。在宅介護をはじめ、保健・福祉・医療など様々なサービスを包括的に提供しています。例えば介護保険の利用方法などの具体的な相談から、近所の高齢者が閉じこもり気味で心配だというような声も拾い上げ、時には関係機関と連携して問題解決にあたったり、要支援1もしくは2と認定された方には介護予防サービ



日々、地域を駆け回る  
在宅支援に関わる職員。

居宅介護支援センターのケアマネジャー、地域包括支援センターの職員をはじめ、デイサービスやショートステイの送迎など、楽寿会の車（約40台）が日々、地域を駆け回っています。いわば、地域福祉・在宅福祉の実働部隊です。



地域の暮らしを支える福祉・介護。地元に住む人たちが、住み慣れた土地で人生を全うする、「イング・イン・プレイス」の実践です。たとえ障がいや不自由があつたとしても、地域で、自宅で生活できるようにする。もちろん、必要な時には施設に入所することができる、しかし元気になれば再び地域、自宅へと帰っていく。そのような循環型の介護システムで、共生型の地域社会を創ることを目指しているのです。

樂寿の園高齢者総合福祉工リアは、その地域福祉を実践する上



「人生を丸ごと理解する、ためのヒアリング。」

ケアマネジャーがご自宅に伺い、ご本人やご家族から手助けをしてほしいことや、暮らし方の希望などをヒアリング。介護に関わることばかりではなく、利用者にとっての生きがいなども聞き取り、支援に反映していきます。

地域に溶け込み、  
在宅介護を実践。

美和地域包括支援センターの皆さん。地域を回って、高齢者のご自宅を訪ねて健康状態や生活能力を確認したり、地域住民の皆さんとのネットワークづくりをしています。交通安全の旗振りの方ともあいさつを交わす仲。



ちが窓口となり、  
誠意サポートします！

の園福祉エリア居宅介護支援センター員の皆さん。地域福祉の窓口として、様々な談を受け、関係機関や地域とも連携し、医保健・福祉が一体となったケアマネジメントを行っています。



は、農繁期などに農家の方がご家族の介護を樂寿会に任せられれば安心して農業に臨むことができます。その結果、丹精込められた美味しい食の恩恵を受けることができ、地元住民は健康に。これがこそが、今後も美和地区を豊かな地域として持続させていく在り方だと信じ、その実現に向け、樂寿会はまい進しています。

平成2年の老人福祉法大改正前は高齢者を施設に入所させることが優先されていたそうですが、楽寿会ではその頃から在宅福祉地域福祉に力を注いだと言います。樂寿の園をはじめとする施設の定員が350名であるのに対し、在宅支援の対象の方は2000名と遥かに多いのは、その現れでしょう。

スを利用するためのプランを作成、そうでもない方でも体力が落ちたなど感じている場合には介護予防の体操教室や講演会を紹介したりもします。さらに、介護に疲れた家族の心のケアをし、負担を減らすための提案などを行なうこともあります。それにより虐待を防ぎ、高齢者の権利を守る役目も果たします。ここでも地域の民生委員、開業医、保健師など協力することで、より効果的な支援提供に取り組んでいます。

ます。これを「アセスメント」と言  
いますが、樂寿会では、その人の  
人生を丸ごと理解することだ  
と考え、ケアマネジャーは、直接介

リング。どこのどういった介護サービスが最適なのかを吟味し

ランを作成する機関。自分の家で暮らし続けたいけれど、誰かの手助けがほしい時があります。そんな時、居宅介護支援センターへ連絡するとケアマネジャーがご自宅に伺い、「こんな手助けをしてほしい」「こんな暮らしをしたい」などをヒア

所、短期入所生活介護、居宅介護支援センターも備える特別養護老人ホーム、美和地域包括支援センター、訪問介護ステーションを併設し、通所リハビリテーション、ショート、短期入所療養介護を行なう介護老人保健施設、デイサービスセンター、グループホームらくじゅの家、ケアハウスサンライフらくじゅ、そして認知症の方のサービスが充実したデイサービスと施設があります。中でも地域福祉と、様々な介護を提供できるのが、居宅介護支援センターと地域包括支援センターの2つです。

居宅介護支援センターは、介護サービスを利用した具体的的な

